

- 首輪やチェーンにより皮膚がすれたり、食い込んでいる状態
- 常時、外部寄生虫が多数寄生している状態



④適切な獣医療の放棄

- 適切な健康管理や予防がされていない
…予防できる疾病（伝染病、内部寄生虫など）の予防がされていない
- 疾病、外傷があっても、放置している

⑤正常な行動をさせない

- 散歩をさせず、一日中繋ぎっ放しにする
- パーソナルスペースが常に侵害され、緊張及びストレスのある状態に置かれる
- 群れの習性がある動物にもかかわらず、単頭飼育されている
- 夜行性動物にもかかわらず、日中明るい照明下で展示飼養したり、ふれあいをさせる
- 社交性の高い動物が常に人および他の動物との接触が全くない状態に置かれる
- 遊び等のエンリッチメントが全くない状態
- 社会化期の動物であっても、他との接触をさせない
- その種の生理・生態・習性を無視した飼養管理
…鳥類にもかかわらず自由に羽ばたくことができない など

⑥遺棄すること

- いかなる場所であろうが故意に捨てること、放置すること、飼育放棄すること

※以上のこと以外であっても、獣医師が科学的根拠に基づき虐待と判断したものは虐待です。



監修：日本獣生命科学研究センター
東京都品川区東五反田 2-6-5 フロインデ 2 階
田中亜紀 疫学博士（獣医師）

お問い合わせ先

公益社団法人
日本動物福祉協会
Japan Animal Welfare Society

〒141-0022
東京都品川区東五反田 2-6-5 フロインデ 2 階
TEL ● 03-6455-7733
FAX ● 03-6455-7730



動物虐待について

1. 動物虐待とは

動物に不必要な苦痛を与えること

※苦痛が動物に利益をもたらす、動物・人・財産を保護する等の目的の場合は除外される。しかし、その苦痛が当該目的に釣り合うものであることを慎重に判断すること。



2. 虐待の種類

①積極的（意図的）虐待

やってはいけない行為を行う・行わせる

- 身体に外傷が生じる又は生じる恐れのある行為
- 暴力を加える
- 心理的抑圧、恐怖を与える
- 酷使 など

②ネグレクト

やらなければならない行為をやらない

- 食事や水を与えない
- 糞尿まみれ、毛玉だらけ
- 日除け、雨風除け等がない
- 健康管理をしない、病気を放置
- 動物種に必要な最低限の行動・精神的ニーズを満たさない など

※動物自身の心身の状態・置かれている環境の状態によって判断される。

3. 虐待の判断基準

動物福祉の原則「5つの自由」が全て遵守されているかどうか

- 1 飢えと渇きからの自由
- 2 不快からの自由
- 3 痛み、負傷、病気からの自由
- 4 恐怖や抑圧(不安)からの自由
- 5 正常な行動を表現する自由

4. 虐待例

①積極的(意図的)虐待

- 獣医学的根拠(公衆衛生学的判断を含む)がなく、殺傷する
- 事故等ではなく人為的(意図的)に与えられたと思われる傷がある
- リードが短すぎて身体を横たえることすらできない状態にする
- 首輪がきつすぎて喉がしめつけられている
- しつけ、訓練と称し、動物に対し殴る、蹴る等の暴力を与えたり、故意に動物に怪我をさせたりする
- 体調不良、不健康な動物を作業、ふれあいや散歩体験等に使用する
- 出産後、十分な期間(出産後一年以上)を経ずにまた繁殖させる
- 動物の性質・能力を超えた行為を無理に行なわせる
- 長時間の使役
- 動物同士及び人と動物を故意に闘わせる
- 恐怖を感じさせたり、怯えさせたりする
 - …花火大会に連れて行く
 - …BB弾や石などの異物等を故意に身体に向けて狙って投げたり、あてたりする など
- 過度のストレスを常時与える
 - …罵声、大音量、長時間の照明等により休息できない など
- 冷たい放水などによる洗浄
- タバコやドライヤーの熱を押し付ける
- 殺虫剤や農薬を食事に混ぜる など

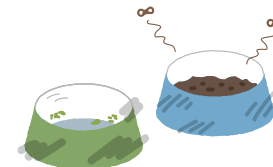


②ネグレクト

①適切な食事・新鮮な飲み水を与えることの放棄

- 種や年齢にあった適切な栄養、十分な食事量が与えられていない、または過度に与えられている
 - …食事が十分でなくBCS1~2/5の栄養不良で肋骨、腰骨が浮き出ている状態(病気の場合は、獣医師の治療を受けているか)
 - …BCS5/5の肥満で歩くことも不自由な状態
 - …幼齢にもかかわらず、一日に適切な回数の食事を与えていない(朝晩1~2回のみなど)

- 数日餌を入れ変えず、餌が腐敗したり、固まったりした状態にしている
- 器が汚く、水入れに藻などが発生し、不潔である
- 常時、新鮮できれいな水が与えられていない
- 水入れがなく新鮮な水を飲むことができない



②適切な環境を整えることの放棄

- 動物種にあった適切な温湿度管理がされていない
 - …建物内の温度が、夏に西日があたるなどして上昇した場合、または冬に低温となった場合に対応していない
- 外飼いなのに、寒さや暑さから身を守る十分な措置がされていない
 - …雨風雪や炎天下を避けられる場所、厳しい天候から身を守る場所が確保されていない
 - …短すぎる鎖で繋がれるなど行動が制限され、自然な行動がとれない
- 暑さ・寒さの温度管理をせずに、車中に動物を放置する
- 安心してくつろげる休息場所がない
- 狭いケージ(身体の一部が四方壁や天井に接触)に閉じ込められっぱなしである
- ケージ内で過密飼育(自然の状態でお互いの身体が接触)
- 飼育環境が不衛生で危険物が散乱
 - …糞尿が数日分(3日以上)も堆積し、動物が糞尿との接触を回避できない状態
 - …呼吸がしにくいほどの悪臭がある
 - …とがったものやガラスなど動物が傷つく可能性のあるものが近くにある
 - …動物の自然な動きを妨げる量のゴミがある
 - …動物がリラックスした姿勢をとれないほどに物が散乱している
 - …常時、糞尿、抜け毛や食事の残渣で散らかっており、衛生管理が行き届いていない

③適切な身体的状態の放棄

- 毛玉が多数あり、ブラッシングで毛を元に戻せない状態
 - …毛を刈らないと毛玉を取り除くことができない状態
 - …目に毛が入り、外傷の可能性のある場合
- 体毛が著しく汚れていて悪臭がする
 - …会陰や肛門に糞尿が著しく付着し、爛れている状態、または、その可能性のある状態
 - …発赤、爛れなど皮膚炎の状態
- 爪及び蹄が過長・裂蹄し、歩行に影響が著しく、外傷の可能性のある場合

